



2009年9月1日

お取引様各位

1週間前ころからインターネット上のいくつかの英語版ブログサイト等で『SIGGとビスフェノールA』についての記事が掲載されるようになりました。SIGG社では8月20日に米国、カナダの顧客に対してSIGGボトルのビスフェノールA (BPA) に関する声明を発表いたしました。この中で『2008年8月以前に製造されたSIGGボトルのコーティングには微量のBPAが含まれていた』という記載があり、これに対してSIGGボトルの健康上の安全性が指摘されたものと思われます。別添のSIGG社CEO、Steve Wasikのレターをご参照ください。

弊社としては、日本のお客様方がSIGGボトルを安心してご使用いただくために、Q&A形式で以下の通りご説明させていただきます。

Q : 2008年8月以前に製造されたSIGGボトルはBPAが溶出される可能性がありますか？

A : 2008年8月以前に製造されたSIGGボトルは、コーティング剤に微量のBPAが含まれていますが、ご使用においてBPAが溶出することは100%ありません。

Q : 熱湯を入れてもBPAが浸み出してくることはありませんか？

A : SIGG社では定期的に公的検査機関で溶出検査をおこなっていますが、全ての検査においてBPAの溶出は確認されおらず安全性が証明されています。溶出検査は様々な方法でおこなわれますが摂氏90度の熱湯に数日間浸すテストでもBPAの溶出は確認されていません。

Q : 日本のBPAの規制について

A : 厚生労働省では食品衛生法の規格基準においては容器・包装からのビスフェノールAの溶出試験規格を2.5µg/ml (2.5ppm) 以下と制限しています。全てのSIGGボトルは製造年に関係なくBPAが溶出することは100%ありませんので安心してお使いください。

Q : スター商事では旧タイプのコーティングのボトルを継続して販売していくのですか？

A : 弊社としてはSIGGボトルはBPAが100%溶出しない安全なボトルであるとの見地からお客様に対してご説明させていただいた上で販売は継続していく予定です。ただ旧タイプの

コーティングを施したボトルは在庫数が限られており随時新コーティングのボトルに切り替えてまいります。

弊社では日本における SIGG ボトルの販売において厚生労働省が定める規制を遵守した製品を責任をもちましてお客様方にご提供させていただいておりますことをご理解ください。

このたびこのような事態になりお客様に多大なるご心配、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

弊社では SIGG 社日本総代理店としてこれまで通りお客様にご満足いただける製品を提供してまいりる所存ですので今後とも SIGG ボトルをお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SIGG 社日本総代理店

株式会社スター商事